

## みんなで作る情報通信白書コンテスト2010

小・中学生の部 優秀賞受賞コラム

## 未来の自分と話せるテレビ電話

執筆 <sup>おかべ</sup>岡部 <sup>みゆう</sup>美優さん (小学4年・群馬県太田市)

コメント：私は未来の自分と話せるテレビ電話がほしいと思います。なぜなら、未来の自分と話してみたかったからです。未来の自分がんばっていたらおうえんすることができますし、また今ゆめにむかってやっていることがあるならそれをおうえんしてあげたいと思います。私はそういうことを思って未来の自分と話せるテレビ電話がほしいと思いました。

私があつたらいいと思う ICT は、未来の自分と話せるテレビ電話の機械です。なぜなら、未来の自分はどうしているのか見てみたいので、未来の自分と話せるテレビ電話がほしいと思いました。

もしも、未来の自分と話せるテレビ電話があつたら、まず最初に 10 年後にかけて、次に 20 年後の自分にかかけたいです。

10 年後の自分は、20 歳なので大人になっています。成人式をどういうかっこうで出ているのかを聞きたいです。ほかに、どういう家に住んでいるのかも気になります。

次に 20 年後の自分は……。もうけっこんをしているのかなぁとか、どんな仕事についているのかなぁとか気になります。今、私は小学校でバレーチームに所属して、練習や試合にがんばっています。なので特にバレーの選手になっているかを知りたいと思います。

もし、未来の自分が、「〇〇になりたい！」というゆめをもっていれば、私はそのゆめに一歩でも近づこうと努力することもできると思いますし、また、未来の自分がそのゆめをかなえているとしたら、

「そのゆめをもっともってがんばってね」

と、未来の自分におうえんすることもできると思います。

そんな人を勇気づけることができるようなテレビ電話を ICT で作れるといいと思います。